

世界の自主偉業に積み上げた金日成主席の業績

ウガンダ・チュチェ思想研究全国委員会副委員長
汎アフリカ運動ウガンダ全国執行委員会委員長
ダニエル・ルガラマ

朝鮮民主主義人民共和国の創建者である金日成主席は、日本の植民地支配に反対する闘争の初期にチュチェ思想を創始しました。

J. B. ムケルジは自分の著書「金日成主席の社会経済および政治理念」(1983)で「金日成主席は自主性のために戦う世界の数百万人民の前途を照らした偉大な哲学者、世界人民が高く仰ぐ救いの星である」と書きました。

今日、世界では支配と従属に反対し、すべての国と民族の自主的發展を成し遂げ、自主性にもとづいた国際関係を樹立し、国際社会の民主化を実現するための闘争がくり広げられています。

このような現実には、国と民族の自主的念願は何をもってしても阻むことができないという真理を示しているチュチェ思想の正当性を実証しています。

自主の哲学として公認されているチュチェ思想は、人間は自己の運命の主人であり、自己の運命を切り開くことのできる力を持っていると主張しています。

チュチェ思想は、自主性にたいする人類の根本的な念願と時代の潮流を正しく反映しており、国と民族の運命開拓で提起される重要な問題に科学的な解答を与えています。領土や人口、経済発展の側面で国ごとに差はあり得るが、大きな国と小さな国、支配する国と支配される国はあり得ません。すべての国は平等であり、自主的であります。このような事実は国際舞台で特定の国々の強権と専横を絶対に許さず、すべての国と民族が国際社会の構成国として自己の自主的権利を行使するためには、国際関係が平等で公正でなければならないことを示しています。民主主義的で自主的な新しい世界のみが、すべての国と民族の自主性を完全に実現することができます。

チュチェ思想が示した自主的な新しい世界は、支配と従属、干渉と圧力、侵略と略奪のない世界、すべての国と民族が自己の運命の主人としての自主的な権利を行使する世界です。言い換えれば、自主的な新しい世界は、国家間の完全な平等と相互尊重、主権行使が保障され徹底的に守られる世界です。こうした世界で、すべての国は自己の運命を自らが選択する権利を行使するようになり、人類共通の利益の見地で平等に協力するようになります。

今日の世界で国連はある特定の国の強権と専横を実現するための一つの手段

になってはなりません。

特に、自衛的権利の行使を口実にして自国に加えている国連の制裁にたいして朝鮮民主主義人民共和国政府が終始一貫堅持している立場は、現在の国際秩序に破裂口を開けて自主的な国際関係の樹立に目的を置いた一つの大胆な決心であると見るすることができます。発表した声明の中で朝鮮民主主義人民共和国は、国連の決議がある特定国家の強権の結果であるということを暴露し、それらが無効であることを宣布しました。

帝国主義者の一方的で不公正な組分け式の対外政策によって国際関係の構造が「新冷戦」構図に変わりながら一層複雑多様になっているのが、現在の国際情勢変化の主な特徴であると見るすることができます。

現在の国際情勢下で自主性にもとづいた国際的連帯と協力の強化は、帝国主義者と支配主義者の強権と専横を排撃し、自由で平和的な新しい世界を建設する上でより本質的な問題として提起されています。

すべての国と民族はそれぞれ自己の民族的課題をもっているが、自主的な世界の建設に共通の利害関係をもっています。

チュチェ思想は自主的發展をなし遂げる上で、すべての国と民族を主体としておし立てており、いかなる形態の支配主義も許容しないことを求めています。

自主性を志向するすべての国と民族が自主的な新しい世界を建設するために団結し、互いに協力するときのみ支配主義者の挑戦を粉碎することができます。

国際関係で自主性にもとづいた平等と信頼が確立され、国際舞台で強権と専横が根絶されるとき、世界の民主化はより早く促進されるでしょう。

帝国主義の強権政策を徹底的に粉碎し、自主性を擁護する人民間の団結と協力を強化し、非同盟運動を力強く前進させながら全世界で帝国主義の力の政策に反対して戦うことなど、チュチェ思想が示した原則は今も依然として反帝自主勢力の国際的団結を強化するうえで指針となっています。

世界の自主化偉業は歴史の試練と挑戦をはねのけ、チュチェ思想とともに引き続き前進するでしょう。

実に、世界の自主化偉業に積み上げた金日成主席の業績は、自主偉業の旗印であるチュチェ思想とともに永遠に光を放つでしょう。

朝鮮半島問題は今日、国際社会で警察と自任する帝国主義者の神話を打ち壊す上で、もっとも重要な問題、国際社会の関心事となっています。

今回のインターネット国際セミナーは、朝鮮人民と東アジア地域そして世界の進歩的人民の大きな関心と期待の中でおこなわれています。

われわれは同セミナーが反帝自主のための地域と世界人民の連帯をさらに強化し、帝国主義に反対する闘争で世界の進歩的人民を一つに団結させ結束させる上で助けとなることを希望します。

平和と安全について見るとき、外部勢力のいかなる脅威にも対処できるよう万全を期するとき、強固な平和と安全を保障することができるということを忘れてはいけません。世界の歴史はすべての形態の戦争が力のバランスが合わないときに起こったということを示しています。

朝鮮労働党総書記であり、朝鮮民主主義人民共和国の国務委員長である金正恩総書記が国防発展展覧会「自衛—2021」開幕式でおこなった演説で、朝鮮民主主義人民共和国の国防力を引き続き強化していくという自身の意志を披瀝したことは、地球上に帝国主義が残っている限り、もっとも正当かつ合理的なものとなります。

西側の支配の歴史にたいして憤怒を抱いているアフリカは今日、新しい思想を研究しています。チュチェ思想はアフリカの汎アフリカ主義とともに適用されるべき一つの適切な哲学であります。

チュチェ思想は永久不滅であろうし、その指導的原則はわれわれの新時代のアフリカ学者たちがよりすばらしい未来のために掲げていくべき原則であります。

汎アフリカ運動ウガンダ全国執行委員会とウガンダ・チュチェ思想研究全国委員会は、ともにわれわれの時代のアフリカ人民の念願と要求を正確に反映している思想であるチュチェ思想を大衆化するための戦略的普及キャンペーンに入りました。

ウガンダ・チュチェ思想研究全国委員会委員長であるマヤンバラ・ローレンス氏と私自身はチュチェの祖国、朝鮮民主主義人民共和国を訪問し、チュチェ思想の正当性がもたらしたチュチェの現実を目撃しました。

終わりに、わたしは「百聞は一見に如かず」という言葉があるように、人類の自主偉業の旗印であるチュチェ思想の真理性と生命力を自分たちが直接目撃し体験したいならば、朝鮮民主主義人民共和国を訪問して朝鮮民主主義人民共和国の現実をわが目で見ることを勧めたいのです。